

学校法人 九州ルーテル学院

2018（平成30）年度

# 事業報告書

自 2018（平成30）年4月 1日から  
至 2019（平成31）年3月31日まで



# 目 次

## I. 学校法人の概要

1	建学の精神	1	ページ
2	学院の沿革	1	ページ
3	設置する学校・学部・学科等	2	ページ
4	学生・生徒・園児の状況	3	ページ
5	役員の概要	4	ページ
6	評議員の概要	5	ページ
7	教職員の概要	6	ページ
8	組織図	7	ページ

## II. 事業の概要

1	大学・大学院・大学付属黒髪乳児保育園		
(1)	はじめに	8	ページ
(2)	入試結果	8	ページ
(3)	就職結果	8	ページ
(4)	教育内容・教育環境の充実	9	ページ
(5)	学生支援	9	ページ
(6)	高大接続	9	ページ
(7)	地域連携推進事業	9	ページ
(8)	カウンセリングルーム「ジャニス」(こころとそだちの臨床研究所)	9	ページ
(9)	補助金獲得	10	ページ
(10)	その他	10	ページ
(11)	次年度に向けて	10	ページ
(12)	大学付属黒髪乳児保育園	11	ページ
2	中学・高校		
(1)	校長の指針	12	ページ
(2)	基本目標	12	ページ
(3)	具体的な取組み	12	ページ
3	こども園		
(1)	園児の動向	13	ページ
(2)	活動報告からみた今後の課題	13	ページ
4	法人・事務部門		
(1)	基本的な取り組み方針	14	ページ

(2)	組織の連携・強化	15	ページ
(3)	キリスト教精神の浸透、キリスト教学校教育同盟との連携	15	ページ
(4)	健全な財務基盤の確立	16	ページ
(5)	人事・労務関係	16	ページ
(6)	防災を含むリスク管理対策	16	ページ
(7)	学院広報	16	ページ
(8)	施設・環境整備	16	ページ
(9)	同窓会、保護者、教会関係、外部団体との連携強化	17	ページ
(10)	阿蘇山荘について	17	ページ
<b>5</b>	<b>宗教教育</b>		
(1)	学院の宗教活動	17	ページ
(2)	大学における宗教活動	17	ページ
(3)	中学・高校における宗教活動	18	ページ
(4)	こども園における宗教活動	18	ページ
<b>6</b>	<b>卒業生数及び進学・就職状況</b>		
(1)	2018年度卒業・卒園数	19	ページ
(2)	2018年度卒業生の進学・就職の状況		
①	中学校	19	ページ
②	高等学校	19	ページ
③	大学	20	ページ
<b>7</b>	<b>施設等の状況</b>		
(1)	学院等が所有する校地・校舎	22	ページ
(2)	2018年度に実施した工事	22	ページ
<b>8</b>	<b>各学校事業及び行事（2018年4月1日～2019年3月31日）</b>		
(1)	大学	23	ページ
(2)	中学校・高等学校	24	ページ
(3)	こども園	25	ページ
(4)	大学付属黒髪乳児保育園	26	ページ
(5)	学院全体	27	ページ

### Ⅲ. 財務の概要

<b>1</b>	<b>決算の概要</b>		
(1)	貸借対照表の概要	27	ページ
(2)	資金収支計算書の概要	28	ページ

(3) 事業活動収支計算書の概要	29	ページ
(4) 収支の機関別内訳	31	ページ
(5) 収支の大科目別内訳	31	ページ
(6) 機関別収支の内訳	32	ページ
(7) 主な財務比率	34	ページ
<b>2</b> その他		
(1) 有価証券の状況	36	ページ
(2) 借入金の状況	36	ページ
(3) 学校債の状況	36	ページ
(4) その他	36	ページ
① 寄付金の状況	36	ページ
② 収益事業の状況	36	ページ
③ 関連当事者との取引	36	ページ
<b>IV. 付録</b> 学校会計について	37	ページ

# I. 学校法人の概要

## 1 建学の精神

学院標語（学訓）	<b>感 恩 奉 仕</b>
学院聖句	わたしが来たのは、羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである。（ヨハネによる福音書 10 章 10 節 b）
学院の使命	建学の精神である「感恩奉仕」、「神の恩寵（恵）に感謝し、神と人に仕える」精神を身に付け、社会に役立つ人材を育成する。

## 2 学院の沿革

1908 年		米国ペンシルベニア州のインマヌエル・ルーテル教会で、「日本に女子学校を作るために」5 ドルが献金された
1921 年	9 月	北米一致ルーテル教会婦人伝道局総会で、日本に女子学校建設を決議
1922 年		日本の福音ルーテル教会第 3 回総会で、女子学校設立を決議。
1923 年	1 月	米国婦人伝道局が 17 万 5 千ドルを目標に募金運動開始。 2 年間で延べ 30 万人から 25 万 6182 ドルを募金。 特に、オハイオ州のジェームズ夫妻は、日本への宣教師を夢みて 8 歳で夭折した娘ジャニスのために特別多額を寄付。 新しくできる学校は、「Janice James School」と呼ばれることになった
1925 年	12 月	私立学校認可申請を熊本県知事に提出、翌年 2 月認可
1926 年	4 月	九州女学院開校。初代院長マーサ・B・エカード
1928 年	10 月 3 日	専門学校入学者検定規定による文部大臣指定 (この日が創立記念日)
1931 年	2 月	修業年限 5 箇年指定（高等女学校高等科入学資格）
1931 年	3 月	第 1 回卒業式
1941 年	11 月	九州女学院財団法人設立 校名は九州女学院高等女学校となる
1943 年	4 月	四年制高等女学校となり校名を清水高等女学校と変更
1944 年	4 月	法人名を財団法人清水高等女学校に変更
1946 年	3 月	同窓会「のいばら会」発足
1946 年	4 月	五年制高等女学校へ復帰 校名は九州女学院高等女学校となる
1947 年	4 月	九州女学院中学校（新制）を設置
1948 年	4 月	九州女学院高等学校（新制）及び九州女学院幼稚園を設置
1951 年	2 月	法人名を学校法人九州女学院に組織変更認可
1975 年	1 月	短期大学設立認可
1975 年	4 月	九州女学院短期大学[英語学科、児童教育学科]開学
1996 年	12 月	大学設立認可

1997年	4月	九州ルーテル学院大学[人文学部人文学科]開学
1998年	3月	短期大学閉学
2001年	3月	野々島グラウンド落成
2001年	4月	中学・高等学校を男女共学とし、ルーテル学院中学・高等学校と校名を変更。法人名を、九州女学院から九州ルーテル学院に改名。さらに幼稚園をルーテル学院幼稚園に園名変更
2001年	7月	中学高校男子寮竣工
2002年	10月	大学4号館竣工
2002年	7月	菊南グラウンド落成
2004年	4月	大学に[心理臨床学科]開設
2005年	3月	学生自治会・部室棟(学生ホール)竣工
2006年	4月	大学に大学院(修士課程)人文学研究科障害心理学専攻開設
2007年	4月	大学人文学部人文学科キャリア・イングリッシュ専攻開設 大学人文学部人文学科こども専攻を開設
2009年	4月	大学が大学基準協会認証評価適合
2010年	4月	大学に小学校教諭一種免許状の課程開設
2013年	4月	認可外保育施設ルーテル学院幼児園開設
2014年	7月	こころとそだちの臨床研究所 開設
2015年	3月	認可外保育施設ルーテル学院幼児園廃止
2015年	4月	ルーテル学院幼稚園を幼保連携型認定こども園ルーテル学院幼稚園へ移行
2016年	4月	九州ルーテル学院大学付属黒髪乳児保育園開園

### 3 設置する学校・学部・学科等

設置する学校	開校年月	学部・学科等
九州ルーテル学院大学	1997年4月	人文学部人文学科
	2004年4月	人文学部心理臨床学科
九州ルーテル学院大学・大学院	2006年4月	人文学研究科 障害心理学専攻
ルーテル学院高等学校	1926年4月	
ルーテル学院中学校	1947年4月	
認定こども園ルーテル学院幼稚園	1948年4月	
九州ルーテル学院大学付属黒髪乳児保育園	2016年4月	

#### 4 学生・生徒・園児の状況

2018年5月1日現在（単位：人）

学 校	学 年	学 科		定員数	クラス 数	園児・生徒・学生数	
						学科別計	合 計
こども園	0歳児			30	-	-	2
	1歳児						8
	2歳児						18
		3歳児		50	-	-	46
		4歳児		50	-	-	42
		5歳児		50	-	-	45
		計		180	-	-	161
中学校	1年			80	3		82
	2年			80	2		56
	3年			80	2		49
	計			240			187
高等学校	1年			320	9		332
	2年			320	8		305
	3年			320	9		337
	計			960			974
大 学	1年	人文	保育	30	2	36	181
			児童教育	20	1	28	
			キャリア	35	2	44	
		心理臨床	65	3	73		
	2年	人文	保育	30	2	34	183
			児童教育	10	1	30	
			キャリア	35	2	44	
		心理臨床	75	4	75		
	3年	人文	保育	30	2	30	162
			児童教育	10	1	15	
			キャリア	35	2	40	
		心理臨床	75	4	77		
	4年	人文	保育	30	2	31	192
			児童教育	10	1	15	
			キャリア	35	2	41	
		心理臨床	75	4	105		
長期履修学生	人文	5	-	0	6		
	心理臨床	5	-	6			
	計		600	-	-	724	
	科目等履修生、研究生		-	-	-	8	
大学院	1年		障害心理学専攻	5	-	-	6
	2年		障害心理学専攻	5	-	-	7
	計			10	-	-	13
		研究生、科目等履修生		-	-	-	1
大学付属 黒髪乳児園	0歳児			45	1	-	5
	1歳児				1	-	18
	2歳児				1	-	14
	3歳児		15	1	-	11	
	計		60	-	-	48	

## 5 役員概要

2018年5月1日現在

職名又は 担当職務	フリガナ 氏 名	常勤・非 常勤の別	就任年月日	備 考
理 事 長	福 田 邦 子	非 常 勤	2004 年 10 月 1 日	のいばら会顧問 愛育会福田病院理事
理 事	内 村 公 春	常 勤	2016 年 4 月 1 日	院長 ルーテル学院中学・高等学校長
理 事	広 渡 純 子	常 勤	2016 年 4 月 1 日	学長
理 事	尾 田 明 子	常 勤	1998 年 10 月 20 日	こども園長
理 事	百 家 裕 幸	常 勤	2016 年 4 月 1 日	事務局長
理 事	角 本 浩	非 常 勤	2016 年 4 月 1 日	神水教会牧師
理 事	坂 根 信 義	非 常 勤	2002 年 6 月 24 日	前理事長
理 事	潮 谷 愛 一	非 常 勤	2014 年 5 月 28 日	熊本市社会福祉協議会会長
理 事	長 岡 立 一 郎	非 常 勤	1998 年 10 月 20 日	九州学院理事長
理 事	山 口 初 子	非 常 勤	2007 年 9 月 28 日	元熊本ライトハウス・ のぞみホーム施設長
理 事	谷 口 美 樹	非 常 勤	2014 年 10 月 1 日	のいばら会会長
理 事	九 谷 晶 子	非 常 勤	2016 年 4 月 1 日	結会会長
理 事	石 原 靖 也	非 常 勤	2006 年 4 月 1 日	アジアフロンティア(株) 代表取締役
理 事	市 川 一 宏	非 常 勤	2004 年 10 月 1 日	ルーテル学院大学長
監 事	河 崎 隆 夫	非 常 勤	2008 年 10 月 1 日	元日本福音ルーテル教会 九州教区主事
監 事	寺 本 行 義	非 常 勤	2008 年 10 月 1 日	元リデル、ライト両女史 記念館館長

## 6 評議員の概要

2018年5月1日現在

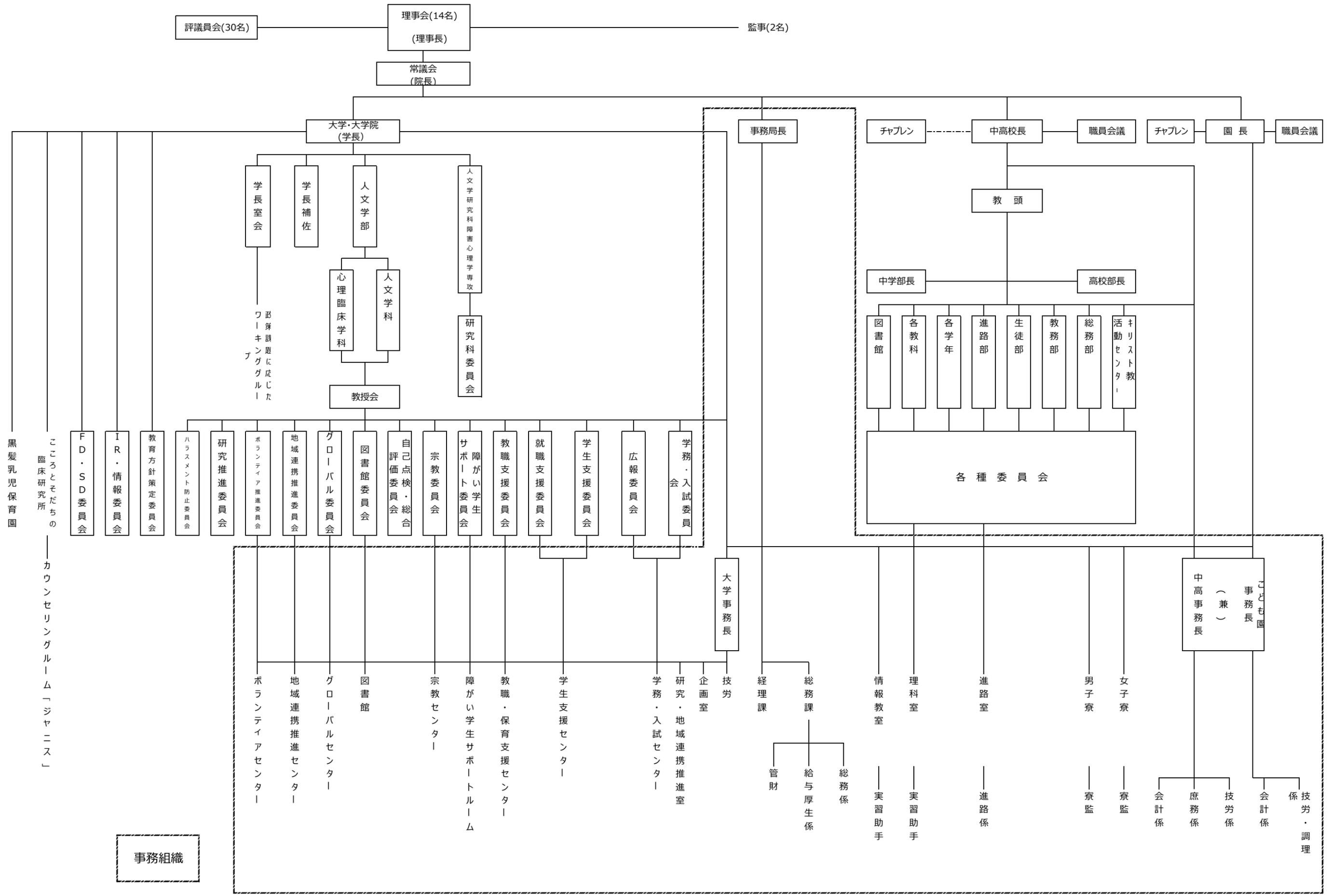
氏名	就任年月日	備考
内村 公春	2002年5月29日	院長、ルーテル学院中学・高等学校長
広渡 純子	2016年4月1日	大学長
尾田 明子	1998年10月20日	こども園長
百家 裕幸	2016年4月1日	事務局長
角本 浩	2016年4月1日	日本福音ルーテル神水教会牧師
坂根 信義	2002年6月24日	前理事長
潮谷 愛一	2014年5月28日	熊本市社会福祉協議会会長
長岡 立一郎	1998年10月20日	九州学院理事長
山口 初子	2007年9月28日	元熊本ライトハウス・のぞみホーム施設長
永野 典詞	2017年4月1日	大学付属黒髪乳児園長・大学教授
松本 充右	2016年10月1日	大学教授
金戸 清高	2017年9月21日	大学教授
西山 慎一郎	2014年10月1日	中学高校教諭
濱崎 庸一	2014年10月1日	中学高校教諭
和田 成子	2001年1月17日	こども園教諭
八田 智子	2016年10月1日	のいばら会顧問
谷口 美樹	2014年10月1日	のいばら会会長
九谷 晶子	2013年12月11日	結会会長
村本 聡子	2016年10月1日	のいばら会役員
森本 和幸	2016年12月7日	結会役員
土田 好次	2018年3月27日	大学保護者
福田 丈人	2018年6月1日	中学高校PTA会長
梅木 千恵	2018年6月1日	こども園PTA会長
石原 靖也	2006年4月1日	アジアフロンティア(株)代表取締役
市川 一宏	2004年10月1日	ルーテル学院大学長
福田 邦子	2004年10月1日	のいばら会顧問・愛育会福田病院理事
梅元 昭宏	2004年9月28日	梅元税理士事務所長
俵 恭子	2005年2月1日	元大学非常勤講師
松尾 正一	2016年3月22日	熊本日日新聞社編集委員
米澤 房朝	2001年5月30日	ヨネザワ社長・清水学園理事長

## 7 教職員の概要

2018年5月1日現在

### 教職員組織<院長 内村 公春>

区分	教員区分	人数	職員区分	人数
認定こども園 <園長 尾田 明子>	専任	1 1	専任	1
	臨採	0	嘱託	2
	非常勤	1 4	非常勤	7
	計	2 5	計	1 0
	教職員合計			3 5
中学校 <校長 内村 公春>	専任	1 1	専任	0
	臨採	3	嘱託	1
	非常勤	6	非常勤	4
	計	2 0	計	5
	教職員合計			2 8
高等学校 <校長 内村 公春>	専任	4 9	専任	4
	専任(J3)	3		1
	臨採	4	嘱託	0
	非常勤	2 7	非常勤	1 0
			寮監	5
	計	8 3	計	2 0
	教職員合計			1 0 3
大学 <学長 広渡 純子>	専任	3 6	専任	2 2
	兼任	6 9	嘱託	1
			非常勤	1 6
	計	1 0 5	計	3 9
	教職員合計			1 4 4
大学院 <研究科長 有村 達之>	兼任講師	6		
	兼任	1 0		
	計	1 6		
保育園 <園長 永野 典詞>	専任	4	専任	1
	臨採	3	臨採	1
	嘱託	3	嘱託	0
	非常勤	4	非常勤	3
	教職員合計			1 9
法人事務局 <事務局長 百家 裕幸>			専任	8
			嘱託	2
			非常勤	2
			計	1 2



事務組織

## II. 事業の概要

### 1 大学・大学院・大学付属黒髪乳児保育園

#### (1) はじめに

2018年度は、策定から5年目に入る「九州ルーテル学院大学ビジョン2014」について第I期アクションプラン（2014～2020年度）管理台帳の整備を行い、ビジョンの進捗状況を確認し、未達成の課題への取り組みを促進した。

そのひとつとして長年の懸案事項であった大学の収支構造の改善について、学科会議、学長室会、教授会で繰り返し検討を重ね、2020年度からの学費値上げを決定した。また新年度予算編成にあたり8%の支出削減を目処に編成を行った。

組織改革については、学長が主導する会議体の見直しを行った。特に本学の教育・研究の特色を活かして地域連携・貢献を図るために、学長室会に研究ブランディング事業推進本部を置き、今年度は障がい学生支援の発展に向けた研究プロジェクトを構想して「私立大学研究ブランディング事業」（タイプA：社会展開型）に取り組んだ。採択には至らなかったが、学内外の研究資源、地域社会との関連の可視化、研究的な実践の必要性の認識に繋がった。これを契機として今後も研究を発展させていく。また、新たに熊本県立ひのくに高等支援学校、ルーテル学院大学、菊池市との包括連携協定を締結した。

さらに情報公開や広報活動での活用に向けて「ファクトブック～データでみる九州ルーテル学院大学」の作成に入った。次年度もさらなるルーテルブランド構築に努めていきたい。

#### (2) 入試結果

出願数（長期履修学生、編入生を除く）は557名（前年度484名）で2年連続増加。特に一般I期およびセンター試験利用入試で大幅増となった。また一般入試合格者の入学率（歩留率）が61%と急激に上昇した（前年までの3か年平均52%）。しかしながら、県内高校からの出願数が90%を超える中、次年度は県内高校生数の大幅減少や学費値上げの影響など厳しい状況が予測されるため、教育内容および教育環境のさらなる充実を図り、高校訪問や出張講義等広報活動の質を高めるなど教職員一致して学生募集に取り組むたい。

なお、長期履修学生については、志願者数1名、合格者1名（前年度2名）。大学院については志願者数7名（内社会人特別選抜4名、一般選抜3名）、合格者6名（前年度6名）である。

#### (3) 就職結果

19期生の内、斡旋不要者9名を除く163名の内160名が進路を決めた。（決定率98.2%）未決定者3名についてもハローワークと連携しながら支援中。（4月10日現在）教員の採用試験結果については熊本県を28名が受験し一次合格16名、二次合格12名、熊本市を11名が受験し一次合格6名、二次合格2名。精神保健福祉士は17名中13名が合格（76.5%）。

また例年熊本県内への就職は約80%と高い数値を維持しているのも特徴と言える。ただ今後企業の新卒一括採用から通年採用に変わる可能性や、東京五輪後の景気後退を懸念する見方もあり、その動向への傾注と関連機関との連携には努めていきたい。

#### (4) 教育内容・教育環境の充実

教育の成果を可視化し教育改善を図るため、本学のアセスメント・ポリシー（学生の学修成果の評価についての学内方針）を策定した。また修学ポートフォリオの次年度導入に向けて準備を始めた。さらにFD・SD委員会学生・教員教育改善検討会の規程を整備した。昨年オープンしたラーニングコモンズLEAPの活用については、ステューデントボイス委員会などでの学生の声を改善に繋げた。ICT事業の加速化については、学内LANを整備し、全教室でのWi-Fi利用が可能になった。

#### (5) 学生支援

授業等で合理的配慮を受けながら修学している学生は10名である。今年度は「九州ルーテル学院大学における障がいを理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」を策定した。また、従来のサポート体制の限界を受け、障がい学生サポートルーム、学生支援センター、学務・入試センターの連携のあり方についてWGを立ち上げ検討を進めた。また次年度より障がい学生サポートルームに新たにコーディネーター1名を置くなど、サポート体制の再構築を図った。

なお、今後の課題として、支援者養成の充実、バリアフリー化の徹底、卒業後の進路についての相談・支援体制の充実などがある。

#### (6) 高大接続

ルーテル高校との高大連携プログラム「大学キャンパス Visit & Try」を初めて実施した。周知不足のため参加者数は少なかったが、参加した高校生へのアンケートでは一定の評価が得られた。次年度はこれに留まらず、特に英語教育における中学校、高校、大学の連携をさらに進め、学院創立以来の英語の伝統の促進を図りたい。

#### (7) 地域連携推進事業

##### ①合志市との包括連携協定による事業

女性・子ども支援課へのソーシャルワーカー派遣、女性・子ども支援協議会への参画、地域の家族見守りサポーター養成講座（昼夜開講）の企画および講師派遣

##### ②菊陽町教育委員会との英語教育連携

キャリア・イングリッシュ専攻他学生による「小学校英語フィールドワーク」で菊陽町立6校の小学生の外国語活動を担任教諭とのチームティーチング形式で支援。

##### ③和水町との包括連携協定による事業

保育コース2年生のこどもフェスティバル in 和水、小学生対象の英語キャンプを実施。フィリア祭にて和水町物産展を開催。

#### (8) カウンセリングルーム「ジャニス」（こころとそだちの臨床研究所）

今年度カウンセリング総数265件（新規34件、継続231件）。開設からおよそ5年が経過し相談件数も安定、認知度も徐々に高まっているが、本学の公認心理師養成において学内実習施設として整備の必要性もあり、今後のあり方について運営委員会で検討を重ねている。

(9) 補助金獲得

私立大学等改革総合支援事業（タイプ5：プラットフォーム形成）に採択された。

(10) その他

①こどもフェスティバル（10月27日開催）

3年生によるオリジナルのオペレッタを中心に1・2年生は手遊び等で、また黒髪乳児保育園園児も歌やダンスを披露し、約300名の来場者を楽しませた。

②2018年度学内表彰

〈教育実践奨励賞〉香崎智郁代准教授、糟谷知香江准教授

〈研究活動奨励賞〉犬童昭久准教授

(11) 次年度に向けて

①高等教育無償化に係る機関（大学）要件の確認への対応

②大学院における公認心理師養成への対応（定員増、学内実習施設の整備等）

③グローバルセンターの再構築

④ハラスメント防止体制の再検討（継続中）

【資料】

1) 異文化圏体験学修および留学状況

【異文化圏体験学修（夏）】5名（男2名、女3名）（前年度3名）

場 所	日 程
バートンアンドサウスダービシャーカレッジ（イギリス）	8月18日～9月16日
グリーンワールド・ギルド（アメリカ）	8月20日～9月17日

【海外留学B】2名（男1名、女1名）（前年度2名）

場 所	日 程
バートンアンドサウスダービシャーカレッジ（イギリス）	8月18日～12月4日

【異文化圏体験学修（春）】18名（男3名、女15名）（前年度14名）

場 所	日 程
フリンダース大学（オーストラリア）	2019年2月9日～3月17日
カーティン大学（オーストラリア）	2019年2月16日～3月24日
アシスタントティーチャー（アメリカ）	2019年2月10日～3月10日
サンウェイ大学（マレーシア）	2019年2月10日～3月10日
JELA インド・ワークキャンプ（インド）	2019年2月10日～2月19日

【日本語・日本文化研修】（韓国人留学生受け入れ）なし（前年度なし）

## (12) 大学附属黒髪乳児保育園

### ①園児の動向と今後の課題

2018年度の4月1日からの園児数の推移を以下に示す。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
園児数	47	48	49	51	54	51	51	51	53	54	54	54

2018度は5月以降、毎月0歳児が数名ずつ増加していった。9月以降に減少しているのは、海外留学生家族の帰国や幼稚園への転園、家庭の事情による転居があった為である。その後は再度0歳児の入園が増加している。過去3年を見ると当園は毎年、夏以降に0歳児の入所が増加する傾向が見られる。

また保育士は年度途中で採用することは困難なため、非常勤保育士でよいので年度初めから1名程度多く採用しておくことが必要であると求人を出していたが、希望者はいなかった。

### ②保育の質の向上について

昨年同様、毎月、定期的な園内研修を実施した。今年度も、大学附属保育園であることの意味、大学の理念、保育園の理念に則った保育実践のあり方について研修を行った。また、保育士が講師となり保護者支援、保育実技、医療、リスクマネジメント等の研修を実施することができた。今後も、園内研修を充実させ、質の向上を目指していきたい。

また、保護者へのアンケートを実施し（60%提出）保育園への要望、保育士の対応、各行事について、給食対応、病気ケア対応、お便り発行等についての意見をまとめることができた。その中でも毎年上がるのが5歳児までの入所を希望する内容だった。

### ③地域交流事業の実施

地域に根ざした保育施設を目指し、積極的に地域交流を行った。老人会との交流、子育てネットワーク（伝承遊び）などを実施した。また、町内会長、第三者委員、民生委員（児童委員含む）と附属園及び大学関係者との懇談会を実施した。地域の方々から、「老人が多い地域であるため子どもたちの声が聞こえると元気になる」との言葉をいただいた。これからも、地域との交流を深め、子育て支援を地域ぐるみで実践していきたい。

### ④設備の改善

保育室の不具合箇所は今年度も大学の営繕部より保育士の要望に速やかに対応していただいた。園庭には倉庫を設置し収納箇所を増やし園児の遊べるスペースを確保できた。また、園児用洋式トイレを1台増設しトイレトレーニングがよりスムーズに行えるようになった。

保護者の要望であった、保育園前のカーブミラーの角度修正と清掃は自治会長であり第三者委員会のメンバーかつ総務省行政相談委員である伊藤一敏様のお声掛けにより苦情事案報告書提出後、早急に熊本市に対応していただいた。同時に保育園からの要望として、道路に“こども注意”の文字塗装もお願いしたところ2019年度4月に塗装終了となった。

## ⑤ 5歳児までの受け入れについて

保護者会より熊本市長宛てに“4歳児・5歳児の保育事業の実現嘆願書”を提出された。保育園は受理し学院代表1名、園長、副園長2名と共に保育幼稚園課長に提出し、

見通しについて話し合いの時間を持つ。その後、市からのアドバイスを受けながら、検討を度々重ねるが床面積に合わせると、在園児は数名退園を強要され、在園児数を優先すると、床面積が不足することとなり、結果5歳児までの入所は断念せざるを得ない結果となった。経過と結果は保護者会会長、副会長に報告し、全家庭にも文書にて報告を行った。熊本市との契約終了は2031年3月であるため今後5歳児までの保育園の設立に向けての委員会を立ち上げ内容を進めていく必要があると思われる。

## 2 中学・高校

(1) 校長の指針・・・「生徒・保護者・地域に信頼される学校へ」

(2) 基本目標・・・「来て良かった」「やって良かった」「出て良かった」「働いて良かった」学校

(3) 具体的取り組み

### <施設面>

- ① 教育環境の充実と整備・・・放送設備の改善、ICT教育のための情報教室のパソコンの入れ替え、中学に電子黒板の追加購入。
- ② 100周年に向けての将来計画は、次年度に。

### <教学面>

- ① キリスト教の充実・・・礼拝、諸行事、キャンパスミッションの開催など
- ② 校務運営の充実のため、常勤の教師との面談を実施。その中で課題も明らかにしていった。また情報の共有のため、内規集の作成等に取り組んだ。
- ③ 「2020年度大学入試制度改革、新学習指導要領」への取り組みとして研修会を実施。
- ④ 防災対策として、防災訓練やPTAと協力して防災グッズ（水・クッキー・毛布）の備蓄
- ⑤ 「働き方改革」「校内での分煙措置」の取り組みを始めた。次年度以降も取り組みを進める。
- ⑥ 生徒募集については、新学校案内の作成等を行い、また例年以上の募集活動を行った。結果、中学においては、定員を超える生徒の入学につながったが、高校は定員割という厳しい現実となった。その原因は、芸術コースの応募者の減少、少子化の進行などが考えられる。次年度以降、新学習指導要領、2020年度大学入試改革への対応も含め、危機意識を共有し、募集活動の強化に取り組んでいきたい。
- ⑦ 国際交流プログラムについては、従来のインマヌエル高校やオークグローブ高校、韓国のシヌン高校との交流は、従来通り実施。特にインマヌエル高校とは短期留学を実施した。また大学も含め、台湾との交流を探るための関係づくりを始めた。さらに昨年度から、東ティモールの子どもたちとの交流を、中学を中心に実施している。
- ⑧ 高大連携、接続については、大学と話し合いながら、不十分ではあるが取り組みを始めた。

- ⑨ 特筆すべきものとして、ルーテル諸学校の聖望学園中学が研修旅行で本校に立ち寄ったこともあり、中学生徒会を中心に、同中学とルーテル学院中学との交流会を実施した。

### 3 こども園

#### (1) 園児の動向

2018年度4月当初（0歳児3名・1歳児11名・2歳児12名・子育て支援12名、3歳児39名・4歳児45名・5歳児49名）**171名**、年度末は**174名**と動向の変化は少なかった。課題は1号が定員を割り、2・3号は定員を超えてさらに希望者がいる点である。

（1号105名【126名】・2号認定39名【24名】・3号30名【30名】。【定員】

保護者の就労の増加がそのまま2号希望児にみられ、要望に応える形で子育て支援の園児を6名多く受け入れたが、現実には外国籍の支援の必要な園児など、想定外の課題から職員の補充が思うようにできなかった点があった。今後は、定員変更を行っていききたい。

#### (2) 活動報告からみた今後の課題

- ① 園児の安全確保・危機管理・防災に取り組む職員の意識高揚につとめると共に、保護者向けの食育・睡眠などの学びの充実を図ったが、ナーサリーの保護者対応に一部ではあるが困難を感じ、保育よりも保護を求められる現実に苦慮している
- ② 改訂保育・教育要領から今年度は具体的な保育方針を『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』について園内外の研修に力点をおいた。学校教育との連続性と共に、学院内の連携も含めさらに充実したい。
- ③ 地域への開放として子育て支援（育児相談やこひつじの会）の活動から33名中9名が具体的に入園へと継続された。
- ④ 特別支援教育については、年々支援を必要とする子ども達が増加傾向にあり、十分な対応に限界があるため、昨年度から受け入れ時入園数の調整を行い14名（手帳保持）だったが、今年度は6～7名の受け入れを行った。大学(心理)との協力関係で保育の観察・職員との検討会議、園内研修へと今後も大きな特色とメリットに繋がっている。
- ⑤ 今年度より、ICT化に積極的に取り組み、担任の全クラス園児管理をタブレットで行い、就労などの合理化も目指す。
- ⑥ 『教職員の資質向上』を図る研修の充実が求められるが、質の高い研修の確保と見極めが求められる。
- ⑦ 昨年創立70周年の節目を迎え、記念行事と共に記念遊具の設置が4月に完了した。今後園庭遊

具の安全性と見直しを継続的に行う。【将来設置計画：プール・雲梯など】

- ⑧ 乳児保育研修(尚綱短大乳児研究室)は、フィールドワークも含め毎月よい学びができていますので、今年度も継続していく。
- ⑨ 発達支援の必要な子どもへの教師の関わり等教育の専門性を高める。
- ⑩ 預かり保育・子育て支援の見直しと継続を図る。
- ⑪ 適切な（保育・教師・幼稚園）評価に基づく開かれたこども園を目指す
- ⑫ 職員の資質向上に伴う教員免許更新と資格取得の取り組みを積極的に行う。

## 4 法人・事務部門

### (1) 基本的な取り組み方針

法人・事務部門では、学生・生徒・園児の満足度を高め、保護者・地域社会の期待に的確にこたえるために、『きらりと光る個性ある学校を目指す』を共通スローガンとして、学内・学外研修（SD）を活用しながら、実務経験と個人面談を織り込み、専門性の高い人材の育成に取り組んできた。

具体的には学院全体の共通目標と、部署・個人ごとの重点目標を連動させ、P（計画）・D（実行）・C（評価）・A（改善）サイクルに沿って推進してきた。

#### 【学院共通目標】

##### ① 予算目標への取り組み

各部門とも補助金の減少が予想され、当初より経費予算については時間外労働や消耗品費、旅費交通費等の経費縮減努力を行ってきた。しかしながら補助金額の減少に加え、校舎の老朽化に伴う補修費の増加、固定資産計上に伴う減価償却費の増加等により、2018年度の基本金組入前当年度収支差額は約30百万円の見込みである。

##### ② 「働き方改革」の推進

学院全体で働き方に対する意識改革を進め、各部門で業務改善や効率化、時間外労働の縮減等に取り組んできた。その結果意識は浸透してきたものの、各部門の働き方が異なるため、今後更に働き方改革関連法を踏まえた個別の対応が必要である。

#### 【目標の視点】

##### ① 業務改善・効率化・管理体制

業務改善については、管理性、業務効率、業務品質を基準として取り組んだ。具体的には部署ごとの勉強会・ミーティングによる業務知識・実務能力の向上、各担当の業務及び役割分担の見直し、ペーパーレス化や行事の見直し等の取組みにより、業務の効率化、会議時間の短縮化、コストダウンへの意識が高まった。

##### ② サービスの向上

各部門・部署、各個人で自分（たち）がサービスする相手を明確にして取り組んだ。特にシステムの有効活用による学生の利便性向上、きめ細かな進路・就職相談、高大連携の促進、老朽化に伴う施設設備補修・環境整備、及びホームページによる情報発信力の強化等を図った。また図書館業務に関

し恒久的に質の高いサービスを提供するために、専門業者によるアウトソーシングを開始、順調に稼働している。

### ③ 人材の育成

建学の精神に基づく高い志と、実務的な知識・能力を持った自律的職員集団の形成をめざして、学内研修・学外研修（延べ27人）に参加し、SD（スタッフ・ディベロップメント）に取り組んだ。具体的には部署ごとの毎週のミーティング及び研修会、学院研修会、外部業務別研修のほか、大学コンソーシアム熊本SD委員会研修、経営者協会等の研修会を活用し、計画的な人材育成を図っている。

## (2) 組織の連携・強化

### ① 学院レベルの委員会の取組み

学院全体に係る「学院レベルの委員会」は、各部門・教職員が協働して学院共通の課題に取り組む組織であり、幼・中・高・大の連携や学院モニターによる外部評価等情報の共有化に役立っている。今後更に充実を図り、学院全体の連携を強化していきたい。

### ② 学内組織・メンバーの情報の共有化

事務局会議（毎週）、課長会（毎月）、事務職員会議（2か月毎）、各委員会（随時）等で情報を共有化し、組織の意思統一、コミュニケーション力の強化を図っている。

### ③ 学院研修会の実施

10月3日創立記念日に、「これからあるべき感恩奉仕」～とき（時）の流れの中で変わるもの、変わらないもの～をテーマに学院全体の研修会を開催、170名が参加した。講演と意見交換を通じて、寄り添うことの意味について理解を深めた。

### ④ 全職員研修会（SD）の実施（SD：スタッフ・ディベロップメント）

12月26日にSDの一環として、「自己理解に基づくコミュニケーションの取り方」をテーマに全職員研修会を開催し、48名が参加した。グループ討議によりコミュニケーションの理解を深め、今後につなげていきたい。

## (3) キリスト教精神の浸透、キリスト教学校教育同盟との連携

### ① 新年度新任者を対象としたオリエンテーションの実施（4月2日）

### ② るうてる法人会連合13回総会開催（8月21日～22日）

### ③ キリスト教学校教育同盟会議・研修参加

- ・第106回総会出席（6月8日～9日）
- ・西南地区事務職員研修会（8月23日～24日）
- ・第4回全国事務局長会議（8月31日～9月1日）
- ・第3回全国災害支援連絡会議（8月20～21日）
- ・第55回西南地区事務長会（11月21日～22日）
- ・ルーテル諸学校代表者会/キャンパスミッション協議会（11月26日～27日：本学）
- ・西南地区校長会（1月18日） 他

### ④ 全教職員を対象とした学院クリスマス礼拝の実施（12月21日）

### ⑤ 宗教活動委員会への参加により宗教活動情報の共有化を図った。

#### (4) 健全な財務基盤の確立

- ① 2018 年度の基本金組入前当年度収支差額は、約 30 百円の見込みである。
- ② 大学では今後修学支援や教育環境の整備充実を図るために、授業料の値上げについて学長室会、教授会等各会議で検討を重ねた結果、2019 年の消費税増税を踏まえ、2020 年度入学者から値上げを実施することとなった。
- ③ 各部門とも予算編成にあたっては 0 からの見直しを行い、選択と集中により優先順位をつけ、費用のメリハリをつけて取組んでいる。特に教育環境の整備については優先して取り組んでいきたい。
- ④ 2019 年度の経費予算については、学校別担当責任者による予算編成会議及び予算検討会議を開き、経費の優先順位・削減等の部署別検討を行った。
- ⑤ 収入財源の多元化の一環として、「古本募金」を立ち上げ、2019 年 4 月から開始。今後広くホームページ等で告知し、寄付金の増加につなげたい。
- ⑥ 外部資金（補助金・寄付金等）の獲得に向けて、教職協働で取り組んでいる。特に補助金については減少傾向にあり、特別補助金は中長期的観点から計画的に取り組んでいく必要がある。

#### (5) 人事・労務関係

- ① 学院全体及び各部門でそれぞれの現状を踏まえながら、働き方改革に取り組んでいる。特に大学では裁量労働制を協議し、2019 年 4 月から導入することとなった。今後の課題として時間外労働の縮減、年次有給休暇の取得に取り組んでいく。
- ② 2018 年度から就業規則を改正し、「無期転換制度」を導入した。
- ③ メンタルヘルス研修会を開催（2018 年 12 月）するとともに、教職員の身心の健康維持のために産業医を含めた安全衛生委員会を毎月開催し、地道な活動を続けている。
- ④ 今後 5～6 年を見据えた人材育成、組織の継続性・機能強化の観点から、2019 年度の事務職員の人事異動を実施した。

#### (6) 防災を含むリスク管理対策

学院リスクマネジメント規程に基づき、学院全体の緊急連絡体制を整備し、緊急事態への対応を確認した。

#### (7) 学院広報

- ① 生徒・学生等の活躍やイベントなど各部門・部署の情報を、タイムリーに発信してきた。今後さらに情報の仕分けを行い、経営情報と併せて積極的な情報開示を行っていきたい。
- ② 学院モニター会議を年 2 回開催し、学院・学校の諸活動に関して各界・各層の有識者から意見を聴取するとともに、学院・学校の代表者と意見交換を行った。今後外部の意見・評価を学院運営に活かし、魅力ある学校づくりを目指していきたい。

## (8) 施設・環境整備

- ① 将来の施設設備計画に備え、中高駐輪場に隣接する熊本市の土地(里道)を購入した(2019年3月29日、92万円)。活用方法については今後検討する。
- ② 学院トイレ改修(和式を洋式へ)について、各部門のニーズ及び優先順位に沿って、長期計画で取り組んでいる。
- ③ 施設設備の老朽化に伴う補修・改修については、教育環境整備の観点から継続して取り組んでいる。
- ④ 教育環境整備及び長期的なコスト削減策として、蛍光灯・水銀灯のLED化を進めている。今後優先順位に従って毎年予算を組み、2026年度を目途に計画的に取り組む。

## (9) 同窓会、保護者、教会関係、外部団体との連携強化

これまで同窓会、保護者、教会関係及び各外部団体等から、寄附金や学生・生徒への経済的支援のほか、学院モニターからの助言等様々な協力・支援をいただいていた。今後学院創立100周年に向け、各種行事や会合、イベント等を通じて、更に連携を深めていきたい。

## (10) 阿蘇山荘について

阿蘇山荘は熊本地震の発生により、全壊の被害を受け使用不能となった。復旧には多額の費用が必要と予想されるため、まず学校校舎の補修を優先した。今後明確な時期は分からないものの、阿蘇山荘の復興を目指し、検討を進める方向である。活用方法としては、バンガローを中心としたキャンプ場的な形態も選択肢の一つである。

# 5 宗教教育

## (1) 学院の宗教活動

キリスト教の建学精神に基づき、宗教活動・教育を行う中、本学院は学校と教会が相互に協力できる働きを大変重視しており、双方の連携は深まっていると感じている。特に、毎年実施しているキャンパスミッション懇談会では、県内各教派の牧師・司祭からいただく提案を学院で検討の上、段階的に実施している。今後も、学校と教会の連携がますます深まることを願っている。その他、キリスト教学校教育同盟及びルーテル諸学校との交流も盛んである。また、定例行事であるクリスマスイルミネーション点灯式なども例年通り実施した。

2018年度は、11月26日(月)27日(火)に、当番校としてルーテル諸学校キャンパスミッション協議会を本学院で実施した。

## (2) 大学における宗教活動

大学では、教職員の宗教委員会と学生のチャペル委員会によって宗教活動を進めている。2018年度、宗教委員会のメンバーは8名、チャペル委員会のメンバーは62名であった。主な宗教活動は毎日の礼拝である。大学での礼拝は自由参加だが、参加者が多く、日々心静める時を過ごしてい

る。本学の学生はほぼ全員、入学によってキリスト教と出会い、又、チャペル委員の活躍によって、礼拝に多くの参加がある。2018年度は141回の礼拝が行われ、年間平均出席率は16.4%台を維持した。皆勤者・精勤が34名で、その中、4年間皆勤者が2名であった。礼拝を好きになった学生が多かったという印象をもった。礼拝の内容は、通常の礼拝のほか、各行事に合わせる礼拝や記念礼拝、誕生者への祝福礼拝、聖歌隊・オルガニスト・ハンドベルチームによる讃美礼拝、「みんなで讃美礼拝」、チャペル委員有志による讃美礼拝、絵本による礼拝、熊本地震追悼礼拝などを行う。そして礼拝では色々な表彰式や、祝福式なども行っている。

他の主な行事としては、サマーキャンプ及びクリスマス礼拝などがある。

### (3) 中学・高校における宗教活動

キリスト教学校として毎朝の礼拝と終礼、聖書科の授業、キリスト教行事によって中高生にキリスト教の精神を学んでいる。2018年度のキリスト教行事の変更点は、高校修養会の実施学年を3年から2年に移したことである。主な理由は大学受験準備に忙しい3年の夏から宿泊行事がない学年である2年の終わりに移して実施することで、聖書の教えに沿って自分をふりかえり、高校最終学年に向かうためである。3月に行われた修養会に対して生徒・教職員から良い反応があった。ルーテル学院の修養会は、中学1年、高校2年に、それぞれ1拍2日で実施することになる。

その他、伝統的に行われてきた行事であるキャロリングはクリスマス礼拝日の早朝からクリスマス礼拝日前日の夕方の実施へ、中学1年生の慈愛園訪問はクリスマス礼拝日からクリスマス礼拝前日に移動し、それぞれの行事の本来の意義と目的に対する整理と調整が行われた。

### (4) こども園における宗教活動

毎週水曜日に黄チャプレンの司式により園児合同礼拝(15分)を行い、園児の保育の中では、担任が毎朝讃美し、欠席児やその日の出来事を祈って一日を開始する。園児への聖書の話は、視聴覚教材等を使用するなどの工夫もしている。また、職員礼拝を毎日朝8:00から行っている。保護者対象の『聖書の学び』(月1回程度)も大学チャプレンにより実施した。その他、主な行事としてはクリスマス礼拝や、日本福音ルーテル室園教会での教会学校と親子礼拝などを行った。

## 6 卒業生数及び進学・就職状況(2019年3月卒業者)

(1) 2018年度卒業・卒園数 (人)

認定こども園ルーテル学院幼稚園	48
ルーテル学院中学校	49
ルーテル学院高等学校	331
九州ルーテル学院大学	182
九州ルーテル学院大学・大学院	7

(2) 2018年度卒業生の進学・就職の状況

① 中学校 (人)

進学

ルーテル学院高等学校	42
その他	7
合計	49

② 高等学校

進学(合格者延人数)

(人)

大学	国公立	9
	私立	226
	九州ルーテル学院大学	20
準大		0
短期大学	国公立	3
	私立	14
専門学校		76
合計		348

就職

(人)

産業別就職者	公務員	5
	サービス業	8
合計		13

都道府県別就職者	熊本県	12
	県外	1
		13

### ③ 大学

第 19 期生 一般企業（希望者 47 人 決定者 47 人）

2019 年 4 月 10 日現在

卸・小売業	10
金融・保険業	10
運輸・郵便業	10
サービス業	5
情報通信業	4
飲食店・宿泊	3
製造業	3
教育・学習支援業	1
生活関連サービス業	1
合 計	47

第 19 期生 医療・福祉（希望者 24 人 決定者 21 人）

医療・福祉	21
-------	----

第 19 期生 公務員（希望者 2 人 決定者 2 人）

公務員	2
-----	---

第 19 期生 保育士・幼稚園教諭・施設保育士（希望者 34 人 決定者 34 人）

熊本市保育所	4
八代市保育士	1
幼稚園教諭	16
保育士	13
合 計	34

第 19 期生 教員（希望者 39 人 決定者 39 人）

熊本県、熊本市教員	14
横浜市教員	1
福岡市教員	1
北九州市教員	1
佐賀市教員	1
臨時教員	21
合 計	39

第19期生 その他

進学（大学・大学院）	9
進学（専門学校）	3
留学	1
教育サービス（大学職員、農協等）	4
合計	17

第19期生 就職率 98.2%（4月10日現在）（前年度4月10日 97.7%）

	希望者	決定数	決定率
一般企業	47	47	100.0%
医療・福祉・施設	21	24	87.5%
公務員	2	2	100.0%
幼稚園・保育園・こども園	34	34	100.0%
教職	39	39	100.0%
進学	9	9	100.0%
その他	8	8	100.0%
合計	160	160	98.2%

\* 精神保健福祉士資格（PSW）

	受験者数	合格者数	合格率(%)	全国平均(%)
2016年度	11	8	72.7	62.0
2017年度	17	14	82.4	76.9
2018年度	17	13	76.5	62.7

## 7 施設等の状況

(1) 学院等が所有する校地・校舎 (2018年3月31日現在) (単位: m<sup>2</sup>)

所在地	施設等	校地面積	校舎面積	利用対象
熊本市中央区黒髪3丁目 269番地 他 (黒髪キャンパス)	校地	46,791.28		大学、中高、 幼稚園
	校舎15棟 (学院会館、学生 自治会棟含む)		21,434.78	同上
	体育館1棟		1,925.88	中高
	部室棟2棟		395.28	同上
	寮2棟		4,157.11	同上
	その他		82.88	守衛室、 トイレ棟
熊本市北区鶴羽田5丁目 952番地他 (菊南グラウンド)	校地	48,987		大学、 中高(野球部)
	部室、監督室他		342.41	同上
合志市野々島中野4393番5 6他 (野々島グラウンド)	校地	19,099		中高 (サッカー部)
	クラブハウス		228.8	同上
	部室棟他		85.31	同上
阿蘇郡南阿蘇村河陽4326番 4他(阿蘇山荘)	校地	37,059		総務部で管理
	建物5棟		719.66	同上
熊本市中央区黒髪2丁目 827番 (大学附属黒髪乳児保育園)	保育園1棟	633.11	369.81	保育園
合 計		152,569.39	29,741.92	

(2) 2018年度に実施した主な工事等

【中高】	中高隣接土地購入 (29 m <sup>2</sup> )	92 万円
	プール照明 (LED 化) 改修工事	203 万円
	野々島グラウンド散水設備工事	342 万円
	グラウンドピアノ (ヤマハ)	305 万円
	放送設備機器更新工事	1,952 万円
	菊南グラウンド室内練習場ネット交換	318 万円

【大学】 学内 LAN 機器設備 (リース資産) 3,574 万円

## 8 各学校事業及び行事（2018年4月1日～2019年3月31日）

### 九州ルーテル学院大学

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学式、1年次生保護者会</li> <li>・新学期オリエンテーション</li> <li>・フレッシュマンキャンプ (新入生歓迎オリエンテーション)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期開講</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャペルゲストマンズ</li> </ul>	
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学説明会</li> <li>・新入生歓迎スポーツデー</li> </ul>	
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンソーシアム進学ガイダンスセミナー</li> <li>・公開講座</li> <li>・第1回オープンキャンパス</li> </ul>	
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期定期試験・まとめ期間</li> <li>・大学院説明会</li> <li>・保育コース合宿</li> <li>・教員免許状更新講習</li> <li>・公開講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FD・SD研修会</li> <li>・第2回オープンキャンパス</li> <li>・追・再試験</li> <li>・長期履修学生入学試験</li> <li>・異文化体験学修</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リカレント教育</li> <li>・サマーキャンプ</li> <li>・秋季卒業式・入学式</li> <li>・公開講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペプ・ラリー</li> <li>・後期開講</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開講座</li> <li>・大学院入学試験</li> <li>・第3回オープンキャンパス</li> <li>・こどもフェスティバル</li> </ul>	
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィリア祭</li> <li>・ホームカミングデー</li> <li>・指定校・併設校入学試験</li> <li>・公開講座</li> </ul>	
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業料全額免除、公募推薦入学試験</li> <li>・公開講座</li> <li>・クリスマス礼拝</li> <li>・クリスマス祝会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレ・カレッジ</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学入試センター試験</li> <li>・後期試験・まとめ期間</li> <li>・公開講座</li> </ul>	
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般I期、外国人、編入学試験</li> <li>・卒業研究発表</li> <li>・大学入試センター試験利用入試</li> <li>・公開講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・追・再試験</li> <li>・異文化体験学修</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般II期、長期履修学生入学試験</li> <li>・学位授与式</li> <li>・F a r e w e l l P a r t y</li> <li>・兼任講師懇談会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合格者招集日</li> <li>・在学生オリエンテーション</li> </ul>

## 8 各学校事業及び行事（2018年4月1日～2019年3月31日）

### ルーテル学院中学・高等学校

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女入寮式</li> <li>・入学式</li> <li>・始業式</li> <li>・新入生オリエンテーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学1年生修養会</li> <li>・中学・高等学校歓迎遠足</li> <li>・防災訓練</li> <li>・奨学生激励会</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学・高等学校体育大会</li> <li>・内科検診</li> <li>・PTA総会・懇親会、寮保護者会総会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校3進路説明会</li> <li>・中学授業参観</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校総体・総文</li> <li>・高3校内修養会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高1カリキュラム説明会</li> <li>・高校前期中間考査</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大掃除、全校集会</li> <li>・高校第1回オープンキャンパス</li> <li>・中学サマースクール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高2カリキュラム説明会</li> <li>・九州学院・ルーテル学院オーストラリア研修会</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私学教育一斉研修</li> <li>・S3特進勉強合宿</li> <li>・大掃除、全校集会</li> </ul>	
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校第2回オープンキャンパス</li> <li>・中学体験学習</li> <li>・高校前期期末考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区保護者会</li> <li>・中学入試説明会</li> <li>・ミッションクリーン</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期始業の辞</li> <li>・塾対象説明会</li> <li>・九州学院・ルーテル学院合同英語暗唱大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学院祭</li> <li>・ルーテル学院音楽会</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームカミングデー</li> <li>・外務省による高校講座（特進対象）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学、高校入試直前アドバイス会</li> <li>・後期中間考査</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスマスツリー点灯式</li> <li>・県下一斉テスト</li> <li>・大掃除、全校集会</li> <li>・寮行動クリスマス会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスマス礼拝、キャロリング、早天礼拝</li> <li>・中学入試（専願・奨学前期）</li> <li>・中学2年研修旅行</li> <li>・芸術コース美術展</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大掃除、全校集会</li> <li>・中学入試（一般前期・奨学後期）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校入試（専願・奨学）</li> <li>・高校1年研修旅行</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学入試（一般後期）</li> <li>・高校入試（一般）</li> <li>・中学県版テスト</li> <li>・中学入学者登校日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校人権同和講演会</li> <li>・後期期末考査</li> <li>・高校卒業礼拝</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校卒業式</li> <li>・中学卒業礼拝・卒業式</li> <li>・S2修養会</li> <li>・大掃除、全校集会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校入学者登校日</li> <li>・芸術コース演奏会</li> <li>・韓国研修旅行</li> </ul>

## 8 各学校事業及び行事（2018年4月1日～2019年3月31日）

### 認定こども園ルーテル学院幼稚園

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園式</li> <li>・新学期始園式</li> <li>・入園感謝親子礼拝</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生会</li> <li>・お見知り遠足</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母の日礼拝</li> <li>・こひつじの会（未就園児）</li> <li>・誕生会</li> </ul>	
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育参観</li> <li>・花の日礼拝</li> <li>・誕生会</li> </ul>	
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お泊り保育（年長児）</li> <li>・1学期終園式</li> <li>・誕生会</li> </ul>	
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏期保育</li> <li>・長期休暇預かり保育</li> <li>・8・9月誕生会</li> </ul>	
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期始園式</li> <li>・祖父母お祝い会</li> </ul>	
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会</li> <li>・バザー（保護者会主催）</li> <li>・誕生会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期終園式</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年度入園児願書受付</li> <li>・芋ほり遠足</li> <li>・子ども祝福礼拝</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫感謝礼拝</li> <li>・誕生会</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期終園式</li> <li>・クリスマス礼拝</li> <li>・年長組家族礼拝</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生会</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学期始園式</li> <li>・年中組家族礼拝</li> <li>・誕生会</li> </ul>	
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育参観（だご汁）</li> <li>・観劇会</li> <li>・もも・年少組家族礼拝</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生会</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒園感謝礼拝（室園教会）</li> <li>・卒園式</li> <li>・終園式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生会</li> </ul>

#### 定例行事

- ・避難訓練（毎月）
- ・体重測定（毎月）

## 8 各学校事業及び行事（2018年4月1日～2019年3月31日）

### 大学付属黒髪乳児保育園

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学期始園式</li> <li>・入園式</li> <li>・お見知り遠足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会</li> <li>・誕生会</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人面接</li> <li>・健康診断</li> <li>・芋苗植え</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒髪地域老人会との交流</li> <li>・誕生会</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育参観</li> <li>・育児講座</li> <li>・プール開き</li> </ul>	
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・七夕、夏祭り（地域老人会との交流）</li> <li>・誕生会</li> </ul>	
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プール納め</li> <li>・誕生会</li> </ul>	
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祖父母との集い</li> <li>・誕生会</li> </ul>	
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会</li> <li>・個人面接</li> <li>・黒髪地区にんじんクラブ交流会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもフェスティバル参加</li> <li>・誕生会</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤労感謝訪問</li> <li>・芋ほり</li> <li>・団子汁会（地域老人会との交流）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断</li> <li>・誕生会</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科検診</li> <li>・発表会</li> <li>・老人会との交流会（クリスマス会）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生会</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生会</li> </ul>	
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豆まき</li> <li>・保育参観（黒髪ネットワーク交流）</li> <li>・誕生会</li> </ul>	
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひなまつり</li> <li>・お別れ遠足</li> <li>・新入園児説明会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お別れ会</li> <li>・誕生会</li> </ul>

#### 定例行事

- ・避難訓練（毎月）
- ・体重測定（毎月）

## 8 各学校事業及び行事（2018年4月1日～2019年3月31日）

### 学院全体

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 辞令交付式</li> <li>・ 新任教職員オリエンテーション</li> <li>・ 学院歓迎会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職員健康診断、胃検診</li> <li>・ 臨時理事会</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 決算会計監査、監事監査</li> <li>・ 理事会・評議員会</li> <li>・ 臨時理事会</li> </ul>	
6月		
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学院モニター会議</li> </ul>	
8月		
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事会・評議員会</li> <li>・ 内部統制実査（経費）</li> </ul>	
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 創立記念日・学院研修会</li> <li>・ 市内教会デイ・キャンプ</li> <li>・ 内部統制実査（収入）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 税務調査</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームカミングデー</li> <li>・ 臨時理事会</li> <li>・ 内部統制実査（人件費）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監事半期監査</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事会・評議員会</li> <li>・ 教職員クリスマス礼拝</li> <li>・ 全職員研修会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クリスマスイルミネーション点灯式</li> <li>・ 半期決算会計監査</li> <li>・ 私学事業団調査</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職員新年礼拝</li> <li>・ ルーテル学院との包括的連携調印式</li> </ul>	
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会計士と理事とのコミュニケーション</li> </ul>	
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事会・評議員会</li> </ul>	

### Ⅲ財務の概要

#### 1 決算の概要

本学院の会計は「学校法人会計基準」に基づいている。決算の見方は、事業報告書巻末の解説を参照されたい。

##### (1) 貸借対照表の概要

(単位・千円)

科目		2018 年度末	2017 年度末	増減
資産の部	固定資産	4,735,060	4,655,163	79,897
	有形固定資産	4,453,125	4,389,768	63,357
	土地	1,494,760	1,493,859	901
	建物	2,012,880	2,089,784	△76,904
	その他有形固定資産	945,485	806,125	139,360
	特定資産	269,805	251,000	18,805
	減価償却引当特定	170,000	165,000	5,000
	退職給与引当特定	91,000	86,000	5,000
	整備引当特定	8,805	0	8,805
	その他の固定資産	12,130	14,395	△2,265
	流動資産	791,923	882,312	△90,389
	現金預金	706,364	765,427	△59,063
	その他流動資産	85,559	116,885	△31,326
<b>資産の部合計</b>		<b>5,526,983</b>	<b>5,537,475</b>	<b>△10,492</b>
負債の部	固定負債	648,120	684,701	△36,581
	長期借入金	346,378	417,744	△71,366
	その他固定負債	301,742	266,957	34,785
	流動負債	233,059	240,820	△7,761
	短期借入金	71,366	73,166	△1,800
	その他流動負債	161,693	167,654	△5,961
<b>負債の部合計</b>		<b>881,179</b>	<b>925,521</b>	<b>△44,342</b>
純資産の部	基本金	6,766,886	6,645,199	121,687
	第1号基本金	6,603,886	6,482,199	121,687
	第4号基本金	163,000	163,000	0
	繰越収支差額	△2,121,082	△2,033,246	△87,836
	翌年度繰越収支差額	△2,121,082	△2,033,246	△87,836
<b>純資産の部合計</b>		<b>4,645,804</b>	<b>4,611,954</b>	<b>33,850</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>		<b>5,526,983</b>	<b>5,537,475</b>	<b>△10,492</b>

## (2) 資金収支計算書の概要

(単位・千円)

収入の部	2017年度決算	2018年度予算	2018年度決算	前年比
学生生徒等納付金収入	1,266,992	1,293,894	1,294,696	27,704
手数料収入	26,993	27,125	27,166	173
寄付金収入	26,005	16,052	16,000	△10,005
補助金収入	694,630	669,794	660,994	△33,636
資産売却収入	495	0	0	△495
付随事業・収益事業収入	69,878	73,784	74,313	4,435
受取利息・配当金収入	162	117	76	△86
雑収入	65,301	42,091	43,361	△21,940
借入金等収入	70,000	0	0	△70,000
前受金収入	95,547	87,452	97,244	1,697
その他の収入	1,154,231	1,162,237	1,253,796	99,565
資金収入調整勘定	△200,707	△99,422	△171,273	29,434
前年度繰越支払資金	529,995	765,427	765,427	235,432
<b>収入の部 合計</b>	<b>3,799,522</b>	<b>4,038,550</b>	<b>4,061,798</b>	<b>262,276</b>
支出の部				
人件費支出	1,404,703	1,418,940	1,411,668	6,965
教育研究経費支出	327,516	346,792	330,958	3,442
管理経費支出	176,150	193,198	179,859	3,709
借入金等利息支出	5,121	4,984	4,566	△555
借入金返済支出	69,928	73,198	73,166	3,238
施設関係支出	33,118	140,384	132,379	99,261
設備関係支出	37,102	84,019	78,503	41,401
資産運用支出	13	21,171	81,010	80,997
その他の支出	1,038,167	1,100,922	1,137,215	99,048
資金支出調整勘定	△57,725	△36,697	△73,890	△16,165
翌年度繰越支払資金	765,427	691,640	706,364	△59,063
<b>支出の部 合計</b>	<b>3,799,522</b>	<b>4,038,550</b>	<b>4,061,798</b>	<b>262,276</b>

2018年度の資金収支は、翌年度繰越支払資金が59百万円減少し、7億6百万円となった。変動の大きな要因は以下のものが挙げられる。

## 【主要な収支改善要因】

納付金収入の増加 : 前年比では、全体で28百万円の増加となった。

【主要な収支悪化要因】

- 寄付金収入の減少 : 前年比で特別寄付金 7 百万、一般寄付金 3 百万円の減少となり、全体で 10 百万円の減少となった。
- 補助金収入の減少 : 前年比で国庫補助金は 60 百万円減少したが、施設型給付費、保育園給付費等で 29 百万円増加し、全体で 34 百万円の減少となった。
- 雑収入の減少 : 退職金財団交付金収入が前年比 16 百万円減少し、全体で 22 百万円の減少となった。
- 施設関係支出の増加 : サッカー場人工芝工事代 1 億 8 百万円を 2018 年度に支払ったため、99 百万円の増加となった。
- 設備関係支出の増加 : 大学学内 LAN 機器リース 35 百万円、中高放送設備機器更新 20 百万円により、前年比 41 百万円の増加となった。

(3) 事業活動収支計算書の概要

(単位・千円)

事業活動	科目	2017 年度決算	2018 年度予算	2018 年度決算	前年比	
		学生生徒等納付金	1,266,992	1,293,894	1,294,696	27,704
手数料	26,993	27,125	27,166	173		
寄付金	20,780	12,440	12,877	△7,903		
経常費等補助金	660,687	669,794	660,994	307		
付随事業収入	69,878	73,784	74,313	4,435		
雑収入	49,927	17,108	20,224	△29,703		
<b>教育活動収入計</b>	<b>2,095,257</b>	<b>2,094,144</b>	<b>2,090,269</b>	<b>△4,988</b>		
事業活動支出の部	人件費	1,394,485	1,402,902	1,394,355	△130	
	教育研究経費	451,873	482,194	466,133	14,260	
	管理経費	191,616	208,820	195,408	3,792	
	徴収不能額等	695	86	73	△622	
<b>教育活動支出計</b>	<b>2,038,669</b>	<b>2,094,001</b>	<b>2,055,969</b>	<b>17,300</b>		
<b>教育活動収支差額</b>		<b>56,588</b>	<b>143</b>	<b>34,300</b>	<b>△22,288</b>	
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	162	117	76	△86
	<b>教育活動外収入計</b>	<b>162</b>	<b>117</b>	<b>76</b>	<b>△86</b>	
	事業活動支出の部	借入金等利息	5,121	4,984	4,566	△555
<b>教育活動外支出計</b>	<b>5,121</b>	<b>4,984</b>	<b>4,566</b>	<b>△555</b>		
<b>教育活動外収支差額</b>		<b>△4,959</b>	<b>△4,867</b>	<b>△4,490</b>	<b>469</b>	
<b>経常収支差額</b>		<b>51,629</b>	<b>△4,724</b>	<b>29,810</b>	<b>△21,819</b>	

特別収支	科目	2017年度決算	2018年度予算	2018年度決算	前年比
		事業活動収入の部	資産売却差額	283	0
	その他の特別収入	45,179	5,145	4,656	△40,523
	特別収入計	<b>45,461</b>	<b>5,145</b>	<b>4,656</b>	<b>△40,805</b>
事業活動支出の部	資産処分差額	0	0	616	616
	その他の特別支出	0	0		
	特別支出計	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>616</b>	<b>616</b>
特別収支差額		<b>45,461</b>	<b>5,145</b>	<b>4,041</b>	<b>△41,420</b>
基本金組入前当年度収支差額		<b>97,090</b>	<b>421</b>	<b>33,851</b>	<b>△63,239</b>
基本金組入額合計		△131,576	△202,845	△121,687	9,889
当年度収支差額		△34,486	△202,424	△87,836	△53,350

2018年度の事業活動収支は、教育活動収支差額が34百万円、教育活動外収支が△4百万円、特別収支差額が4百万円となり、基本金組入前当年度収支差額は34百万円となった。2018年度の主な増減要因として以下のものが挙げられる。(前年比)

【主な増収要因】

納付金の増加 : 前年比では、全体で28百万円増加した。

【主な減収要因】

寄付金の減少 : 特別寄付金7百万円、一般寄付金2百万円の減少。全体で8百万円の減少となった。

雑収入の減少 : 退職金財団交付金収入が前年比14百万円、退職引当金取崩額13百万円減少し、全体で30百万円減少した。

教育研究費の増加 : 奨学費は22百万円減少したが、業務委託費、減価償却費等で26百万円の増加となり、全体では前年比14百万円増加した。

特別収入の減少 : 前年度は施設設備補助金34百万円等の特別収入があったが、2018年度は該当なく41百万円の減少となった。

基本金組入前当年度収支差額と減価償却額の内容は下表のとおり。(単位：千円)

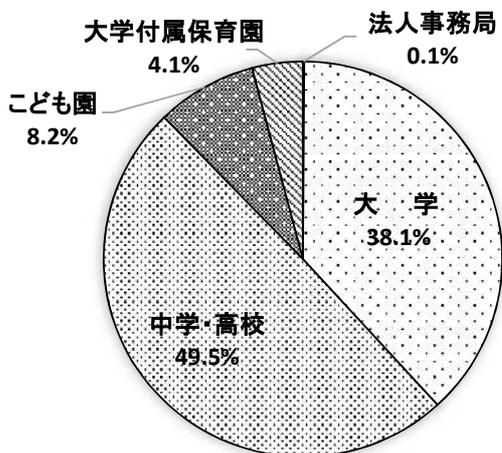
	2017年度決算	2018年度予算	2018年度決算	前年比
基本金組入前当年度収支差額	<b>97,090</b>	<b>421</b>	<b>33,851</b>	<b>△63,239</b>
大学	55,941	△16,960	17,501	△38,440
高校	58,569	36,570	27,188	△31,381
中学校	△3,449	△5,048	1,218	4,667
こども園	10,716	5,227	7,092	△3,624
保育園	△3,608	1,404	2,519	6,127
法人	△21,079	△20,772	△21,667	△588
減価償却額	139,823	151,024	150,723	10,900
減価償却累計額	2,501,201		2,572,906	71,705

(4) 収支の機関別内訳

法人全体の事業活動収支の機関別内訳は、次のグラフのとおりである。

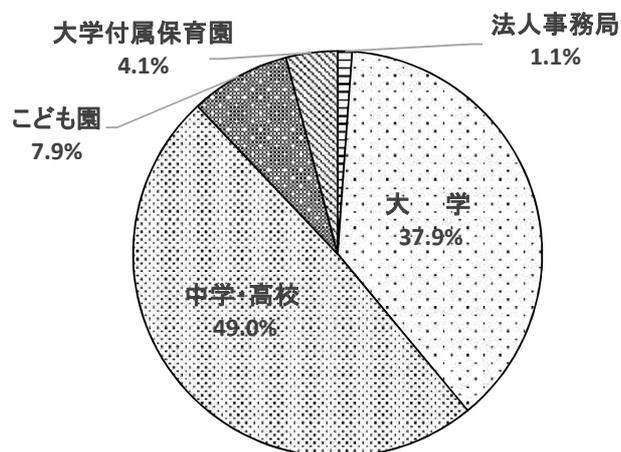
【事業活動収入】

< 2,095,002 千円 >



【事業活動支出】

< 2,061,151 千円 >

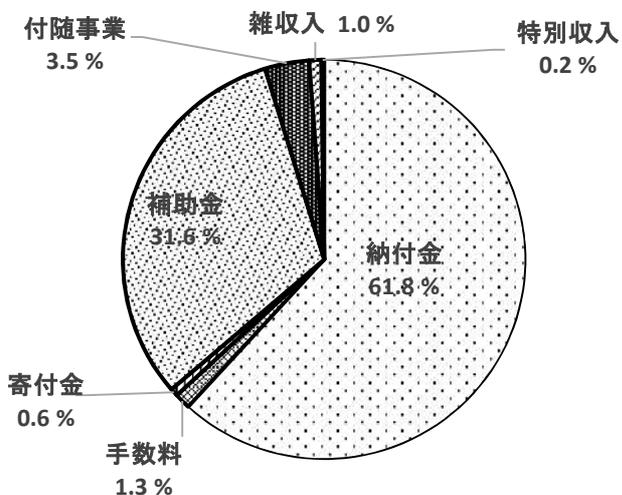


(5) 収支の大科目別内訳

法人全体の事業活動収支の大科目別内訳は、次のグラフのとおりである

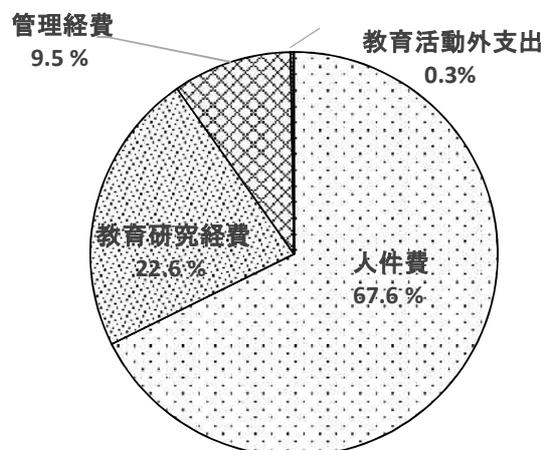
【事業活動収入】

< 2,095,002 千円 >



【事業活動支出】

< 2,061,151 千円 >



(6) 機関別収支の内訳

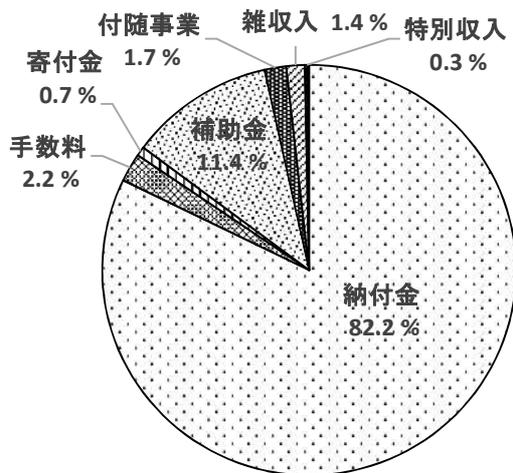
各機関の事業活動収支の大科目別内訳は、次のグラフのとおりである。

なおグラフにおいて、こども園の収入の内訳について注意が必要である。納付金（基本保育料＋給食費）は保護者が負担する保育料であるが、負担を軽減するために不足分を在園児居住の各市が補助金（施設型給付費）として補助を行っている。

【大学の事業活動収支の構成】

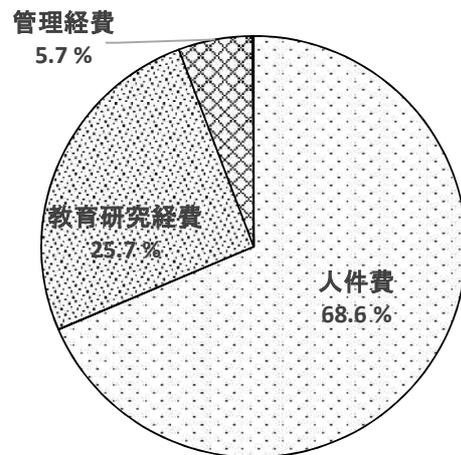
【事業活動収入】

< 798,493 千円 >



【事業活動支出】

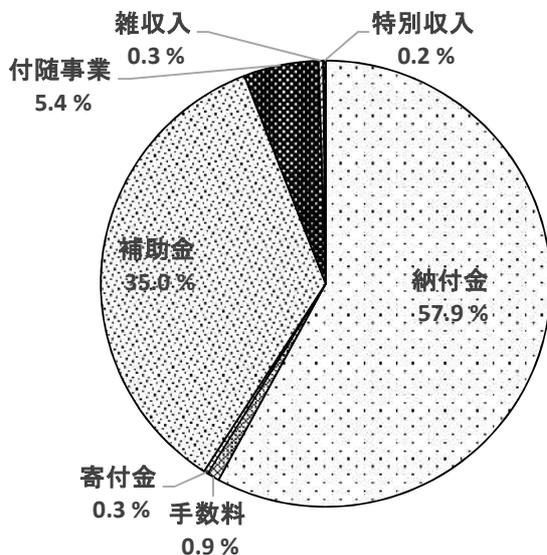
< 780,992 千円 >



【中学・高校の事業活動収支の構成】

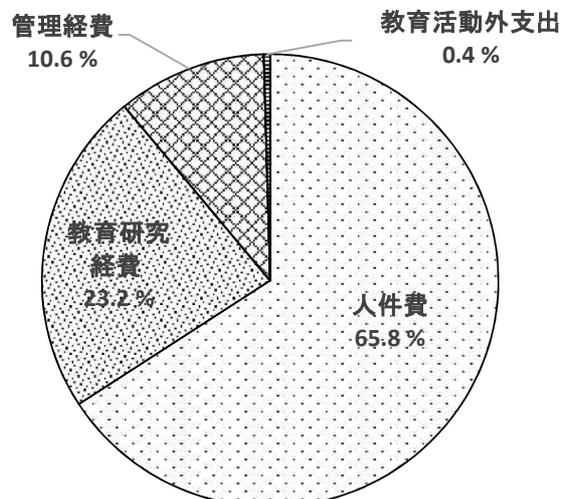
【事業活動収入】

< 1,037,660 千円 >



【事業活動支出】

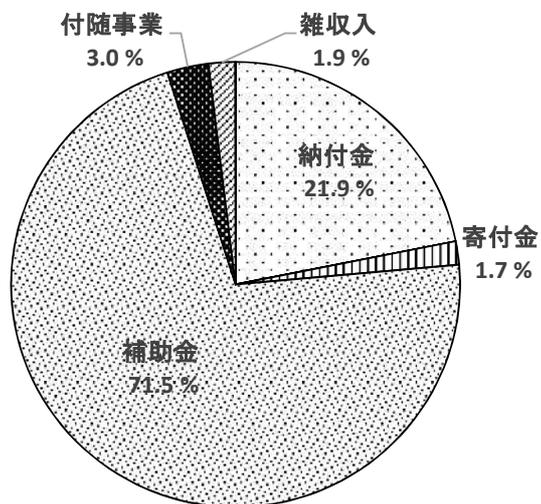
< 1,009,254 千円 >



【こども園の事業活動収支の構成】

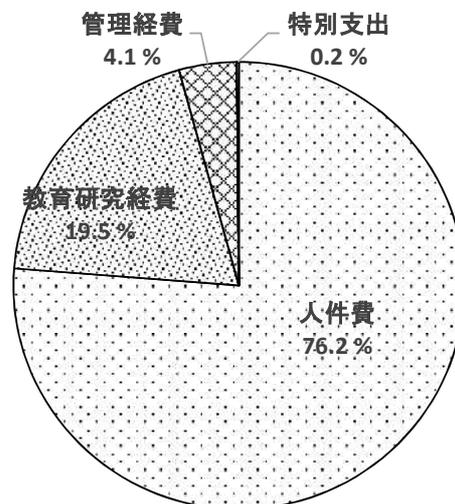
【事業活動収入】

< 170,782 千円 >



【事業活動支出】

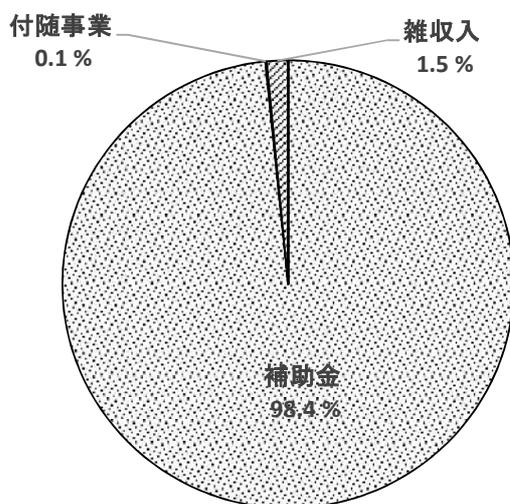
< 163,690 千円 >



【大学附属保育園の事業活動収支の構成】

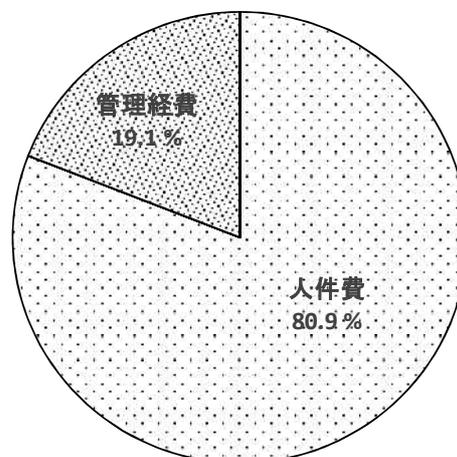
【事業活動収入】

< 86,202 千円 >



【事業活動支出】

< 83,683 千円 >



主な財務比率

\*2015年度から改正された学校法人会計基準に基づいた財務比率

1. 【貸借対照表関係比率】＜法人全体＞

※△高いほど良い ▼低いほど良い

観点	比率名	算式	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	平均値	良い	留意点・本学院の傾向等
自己資金は充実しているか	純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{負債} + \text{純資産}}$	82.6%	83.4%	83.3%	84.1%	84.5%	△	毎年改善し平均値レベルに近づいてきた。今後も継続して取り組む。
	繰越収支差額構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{負債} + \text{純資産}}$	-38.2%	-37.3%	-36.7%	-38.4%	-20.6%	△	前年より比率は低下。平均値より低く今後も継続して取り組む。
固定資産は長期資金でまかなわれているか	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	108.9%	104.9%	100.9%	101.9%	98.7%	▼	長期的資金の安全性指標。100%以下が望ましい。比率は上昇し、平均値より高い。
	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産} + \text{固定負債}}$	93.6%	91.0%	87.9%	89.4%	88.8%	▼	安全性指標。100%以下が健全。比率は上昇したが100%以下であり平均値レベル。
資産構成はどうか	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	89.9%	87.4%	84.1%	85.7%	83.4%	▼	総資産に対する固定資産の割合。前年より上昇し、平均値より高い。
	有形固定資産構成比率	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$	85.1%	82.5%	79.3%	80.6%	56.7%	▼	総資産に対する有形固定資産の割合。比率は前年より多少上昇し、平均値より高い。
	特定資産構成比率	$\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$	5.6%	4.6%	4.5%	4.9%	22.6%	△	各種引当特定資産等の長期的資産の蓄積状態を表す。改善したが平均値より低い。
	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	12.2%	12.6%	15.9%	14.3%	16.6%	△	短期的な支払能力指標。前年より比率は低下し、平均値より低い。
負債に備える資産が蓄積されているか	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	255.7%	322.4%	366.4%	340.0%	274.1%	△	短期的な支払能力指標。短期負債の返済能力は問題なし。
	退職給与引当特定資産保有率	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	32.8%	33.2%	33.0%	34.1%	54.4%	△	将来への準備資金。徐々に改善しているが、平均値よりまだ低い。
資産の保有状況	積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	26.2%	29.6%	36.8%	34.4%	70.7%	△	前年より比率は低下した。運用資産の蓄積がさらに必要。
負債の割合はどうか	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債} + \text{純資産}}$	13.5%	12.7%	12.4%	11.7%	9.5%	▼	毎年確実に返済し、徐々に平均値に近づいてきた。
	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{負債} + \text{純資産}}$	3.9%	3.9%	4.3%	4.2%	6.1%	▼	流動負債は低く、問題なし。
	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{負債} + \text{純資産}}$	17.4%	16.6%	16.7%	15.9%	15.5%	▼	徐々に改善傾向である。平均値レベルに近づいてきた。
	負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	21.1%	20.0%	20.1%	19.0%	18.4%	▼	他人資金は自己資金を上回っていない。改善傾向であり、平均値に近づいてきた。

※「平均値」は、全国の同規模大学法人数値（2017年度 私学事業団まとめ）

※運用資産＝現金預金＋特定資産＋有価証券

※要積立額＝減価償却累計額＋退職給与引当金＋2号基本金＋3号基本金

\*2015年度から改正された学校法人会計基準に基づいた財務比率

2【収支計算書関係比率】<法人全体>

※△高いほど良い ▼低いほど良い

観点	比率名	算式	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	平均値	良い	留意点・本学院の傾向等
経営状況はどうか	事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	3.3%	5.0%	4.5%	1.6%	3.6%	△	基本金組入前当年度収支差額の減少により比率が大幅に低下し、平均値も下回った。
	経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	2.1%	-0.8%	2.5%	1.4%	2.7%	△	経営の健全性指標。経常収支差額の減少により、比率が大幅に低下し、平均値も下回った。
	教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	2.6%	-0.5%	2.7%	1.6%	1.5%	△	教育活動本来の収支バランス。収支差額の減少により比率が低下、平均値は上回った。
	減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	6.6%	6.8%	6.8%	7.3%	9.5%	△	施設設備により減価償却額が増加し、比率が上昇した。平均値より低い。
収入の構成はどうなっているか	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	64.0%	61.6%	60.5%	61.9%	40.4%	△	納付金が増加し前年度より比率は上昇した。今後とも安定した学生生徒の確保が必要。
	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	1.5%	3.9%	1.2%	0.8%	1.4%	△	寄付金額の減少により比率は低下。平均値も下回った。今後外部資金獲得の対策が必要。
	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	28.8%	30.7%	32.4%	31.6%	11.4%	△	前年程の特別補助金なし。事業活動収入が減少し大幅な比率の低下なし。平均値より高い。
支出の構成は適切であるか	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	66.6%	63.3%	66.5%	66.7%	49.9%	▼	人件費全体は前年並であるが、経常収入の減少により比率は上昇した。平均値より高い。
	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	104.1%	102.7%	110.1%	107.7%	123.5%	▼	多少改善。比率は平均値より低いが、人件費が学生生徒納付金を上回っている。
	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	22.6%	28.5%	21.6%	22.3%	39.9%	△	教育研究活動の維持・発展を支える。比率は改善したが平均値に比べてまだ低い。
	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	8.2%	8.6%	9.1%	9.3%	7.0%	▼	一定の経費支出はやむを得ない。管理経費の増加により比率が上昇。平均値より高い。

※「平均値」は、全国の同規模大学法人数値（2017年度 私学事業団まとめ）

※運用資産＝現金預金＋特定資産＋有価証券

※要積立額＝減価償却累計額＋退職給与引当金＋2号基本金＋3号基本金

## 2 その他

### (1) 有価証券の状況

区分	銘柄	帳簿価額	表示科目
株式	キリスト新聞社	5万円	有価証券

### (2) 借入金の状況

借入先	借入残高	利率	担保等
公的金融機関	1,666万円	1.8%	あり
市中銀行・信用金庫	4億1,084万円	0.61~2.4%	あり

### (3) 学校債の状況 学校債は、発行していません。

### (4) その他

#### ① 寄付金の状況

寄付金の種類	寄付者	金額	摘要
新入生寄付金	保護者	78万円	
一般寄付金	保護者	111万円	卒業(園)記念寄付金
	保護者、企業、教職員	401万円	行事等教育活動支援
特別寄付金	保護者、団体、教職員	387万円	熊本地震復興支援義援金
	企業	150万円	教育活動支援等
	団体	5万円	パイプオルガン維持寄付金
	保護者、旧教職員	85万円	学院施設設備寄付
	卒業生、教職員	368万円	トイレ整備寄付
	団体	11万円	阿蘇山荘支援寄付金
現物寄付金	一般有志	153万円	絵画、タブレット端末等

全体で1,596万円の寄付金及び、153万円の現物寄付をいただきました。

その内訳は上の表のとおりです。

寄付者の皆様には、心から感謝申し上げます。

#### ② 収益事業の状況

収益事業は、行っていません。

#### ③ 関連当事者との取引

関連当事者との取引はありませんでした。

## IV 付録 学校法人会計について

2015（平成27）年度から、学校法人会計基準が大幅に改正されました。

改正の趣旨は、情報の公開と説明責任の観点から、より一般に解りやすく、また学校法人の適切な経営判断に資するために行われたものです。

本学院の会計も、2015（平成27）年度からこの「新学校法人会計基準」に基づき、以下の計算書類を作成しております。これらについて、本学院の仕訳方法を踏まえてご説明致します。

### 資金収支計算書 とは・・・

毎会計年度、当該会計年度の、学院の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容、並びに、当該会計年度における支払資金（現金及びいつでも引き出すことができる預貯金）の収入及び支出のてん末を明らかにするものです。

資金収支計算書は、単純に4月から翌年3月までの資金の収支をまとめるものではありません。学校の活動は学年ごとに繰り返されるので、資金の収支も年度ごとに把握できるように、調整勘定を設けて調整します。

主な科目の内容は、以下の通りです。

【学生生徒納付金収入】	授業料収入、入学金収入、施設費収入等の納付金
【手数料収入】	入学検定料収入、中高の進路模試の試験料、大学の各種検定試験料、在学・卒業等の証明手数料等
【寄付金収入】	寄付者が使途を指定した特別寄付金と、指定のない一般寄付金。
【補助金収入】	経常費、施設整備等のすべての補助金。こども園の施設型給付費も含まれます。
【資産運用収入】	受取利息収入と、学内施設等の施設設備利用料収入。
【付随事業・収益事業収入】	中高の寮活動並びにこども園のスクールバス利用等を計上する補助活動収入や、大学で行う公開講座、更新講習等の収入、韓国提携大学の学生を受け入れる受託事業収入、ジャニスのカウンセリング料収入等。学院では、すべて教育に付随する「付随事業」としてしています。
【受取利息・配当金収入】	特定資産の運用収入や預金利息、配当金等。後述の区分経理の為、独立した科目。
【雑収入】	退職金団体交付金収入や、大学のボランティア体験の体験学習収入、大学科研費の間接経費収入等。
【前受金収入】	前年度の3月までに受け入れた収入で、当年度になって入学金や施設充実費に振替えられる、資金収支計算書特有の科目です。
【その他の収入】	預り金受入収入や仮払金回収収入など、短期的に精算される収入で、雑収入と違い、消費収支計算書に影響しません。

<b>【資金収入調整勘定】</b>	収入として計上したが未収となっている期末未収入金や、前受金として前年度までに受け入れた収入を、当年度に本来の科目に計上した前期末前受金等を調整する科目で、マイナス表示します。
<b>【教育研究経費支出及び管理経費支出】</b>	経費支出は、教育活動及び研究に用いるものを「教育研究経費」、それ以外を「管理経費」に分けています。
<b>【施設関係支出】</b>	土地支出、建物支出、構築物支出、建設仮勘定支出、施設利用権。
<b>【設備関係支出】</b>	教育研究用機器備品や管理用機器備品、図書、車両等。
<b>【資産運用支出】</b>	特定資産への繰入支出や有価証券購入支出等。
<b>【その他の支出】</b>	資産に計上する支出で、前払金支払支出や仮払金支払支出、また、負債の支払いとして前期末未払金支払支出や預り金支払支出等。
<b>【資金支出調整勘定】</b>	支出として計上したが未払いとなる期末未払金や、前年度までに支払っている経費を当年度に本来の科目に計上した前期末前払金等を調整する為の科目で、マイナス表示されます。

#### **活動区分資金収支計算書** とは

「資金収支計算書」を『教育活動』『施設設備等活動』『その他の活動』の3つに区分して組み替え、現預金の流れを表した計算書類です。企業会計で言うキャッシュフロー計算書に相当し、これにより、活動ごとの資金の流れが分かるようになります。学校法人全体を対象に作成し、部門ごとの明細は作りません。この計算書は、文科省管轄法人にだけ作成が義務付けられています。

#### **事業活動収支計算書** とは・・・（従来の「消費収支計算書」）

当該会計年度の学院の諸活動に対応する事業活動収入および事業活動支出の内容及び基本金組入後の均衡の状態を明らかにするものです。企業会計の損益計算書に相当しますが、学校法人は営利を目的とせず、教育事業を行うことが目的なので、「事業活動収支計算書」と呼びます。この計算書は、「教育活動収支」、「教育活動外収支」及び「特別収支」に区分されています。

- 教育活動収支は、学校法人の本来の活動にかかる経常的な収支です。
- 教育活動外収支は、資金調達や資金運用など、財務活動の収支です。
- 特別収支は、施設設備のための寄付金や補助金など臨時的な収支です。

また、基本金組入前の収支状況（「基本金組入前当年度収支差額」）を表示することによって、短期・長期の両方の収支バランスが見た目で分かるようになりました。

科目の多くは「資金収支計算書」と同じですが、「事業活動収支計算書」だけにみられる主な科目は以下の通りです。

<b>【現物寄付】</b>	資金の受入れがないので、事業活動収支上にしか反映されません。
<b>【退職給与引当金繰入額】</b>	実際の退職金支払いに先立って、予め毎年度に負担額を事業活動支出として計上することが、事業活動収支の均衡を維持するうえで必要とされるものです。

大学の場合、期末要支給額を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累計額と、交付金の累計額との組入調整額を加減した金額を全額計上します。

大学以外の教職員に係る退職給与引当金については、期末要支給額から、各退職金団体からの交付金相当額を控除した金額（学校負担額）を全額計上します。

**【減価償却額】**

固定資産のうち建物・構築物・機器備品などは、時の経過により価値が減少するものとして減価償却を行い、取得原価を毎年度の事業活動支出に費用配分しています。学校法人会計基準では、すべて定額償却です。

**【資産処分差額】**

不動産などを売却し、その代価が帳簿残高を下回った場合、その差額を計上。また建物・構築物などの取壊しや、使用不能になった機器備品を除却処分した場合、処分時点の帳簿残高を計上します。

**【過年度修正収入・支出】**

前年度以前に計上した収入または支出の修正額で、当年度の収入あるいは支出となるものを計上します。

**【基本金組入額】**

事業活動収入から組入れた金額で、下表のように第1号基本金から第4号基本金までがあります。このうち、第2号から第4号基本金は、理事会で組入れの議決をした金額ですが、第1号基本金は当該年度における施設・設備の取得額から除脚額を引いた金額が計上されます。学校法人会計においては、基本金組入れ後の収入（事業活動収入）と事業活動支出とが均衡することが望ましいとされています。

第1号基本金	施設（土地、建物等）・設備（機器備品、図書等）の取得額、及びその取得のために借入れた資金の返済額を組入額として計上
第2号基本金	計画に基づき先行組み入れた金銭等の額
第3号基本金	周年記念奨学基金等として継続的に保持・運用するために組み入れた金銭等の額
第4号基本金	必要な運転資金を常時保持するため、恒常的に保持すべき資金として基本金に組み入れる額

※基本金と資本金：「基本金」とは、企業会計の資本金とは異なり、学校法人会計独自の計算構造で、学校法人がその諸活動の計画に基づき、必要な資産を継続的に保持するために、事業活動収入から組み入れた金額です。

**貸借対照表** とは・・・

会計年度末における学校法人の財政状態（ストック）を表したものです。教育研究に必要な財産を適正かつ安全に保持しているかどうかの財政状態を確認します。

**【固定資産】** 耐用年数が2年以上の有形固定資産（土地・施設・設備・図書等）と、保有期間が1年を超えると見込まれる有価証券、債権などの資産のこと。後者のうち特別な目的に引き当てられた資産を、特定資産と言います。

- 【流動資産】 現金預金・未収入金・前払金・仮払金等。
- 【固定負債】 長期借入金・退職給与引当金等。「退職給与引当金」は、教職員に将来退職金として支払うべき退職金を、負債として認識するもの。中高・こども園と大学とでは引当金の計算方法が違っている為、それぞれに計算して計上しています。
- 【流動負債】 短期借入金・未払金・前受金・預り金・仮受金等。
- 【純資産】 基本金と繰越収支差額。保有する資産のうち、この部分が自己資本となるので、純資産と言います。

	<u>資産の部</u>	<u>負債の部</u>
	<b>固定資産</b>	<b>固定負債</b>
大科目	有形固定資産	長期借入金
	土地	退職給与引当金
中科目	：	長期未払金
	特定資産	・・・
	第〇号引当特定資産	<b>流動負債</b>
小科目	：	短期借入金
	：	未払金、前受金・・・
	その他の固定資産	負債の部 合計
	借地権	<b>純資産の部</b>
	出資金	<b>基本金</b>
	ソフトウェア	第1号基本金
	：	第2号基本金
	<b>流動資産</b>	第3号基本金
	現金預金	第4号基本金
	未収入金	<b>繰越収支差額</b>
	：	翌年度繰越収支差額
	<b>資産の部 合計</b>	純資産の部 合計
		負債及び純資産の部合計

[ 運用形態 ]

[ 調達源泉 ]



本学院の校章は、中心部は図案化されたバラの花が置かれ、そのバラを三角で囲み縁取りされている。三角の形は、キリスト教会には馴染みの深いシンボル・三位一体の神に由来するものだが、学院では学校の人間育成・教育の課題である「知育・徳育・体育」を表すものとして扱ってきた。

中心部のバラ模様は、ルター派（ルーテル）教会のシンボルである。「純粹」を表す白いバラ模様の中心には、ルター（ルーテル）紋章では赤いハートに十字架を刻み、キリストの十字架の心が記されているが、学院紋章では「赤い丸」に単純化されている。それは単純化と言うよりは「キリストの十字架の血」に置き換えたものである。その「一点」こそが、学院の原点であり、それは「靈育」という原点である。

「靈育」を原点とし、そこに支えられて「知育・徳育・体育」による人間形成が営まれる学府を「校章」は謳っている。